

令和7年度 障害者支援施設 丹波桜梅園 地域連携推進会議 議事録 (第2回)
(施設見学)

日 時：令和7年9月25日(木) 10:00～11:30

会 場：丹波桜梅園(生活棟・作業棟・農耕班圃場・会議室)

出席者：利用者代表、利用者家族、地域関係者、福祉関係者、施設長、サービス管理責任者
(計6名)

1. 開会・あいさつ

施設長より挨拶があり、その後、施設内の各所を巡る見学を実施した。

2. 施設見学(10:10～11:10)

生活棟1号室から順に、以下の順路で案内・説明を行った。

生活棟(1号室～) → 医務室 → 花ルーム → 呉竹棟 → 利用者玄関方面
→ 男女浴室 → 昇・光ルーム → 洗濯室 → サロン(装飾班紹介) → 内職班
→ 園芸班 → リサイクル班 → 公用車にて農耕班圃場 → ハウス → 帰園

◇説明内容の主なポイント

- 利用者数：女性9名、男性33名
- 利用者による壁の破損があるため、居室によっては特別な加工を施して修繕している
- 電気錠は9か所に設置され、火災時には自動解錠される仕組み
- 各作業班の活動内容について、施設長およびサービス管理責任者より説明

3. 見学後の意見・感想(会議室)

◇利用者家族より

- 以前、保護者会で見学した際とは違う部分も見ることができた。
- トイレが常に清潔で、匂いもなく管理されていることに感心した。
- 居室が利用者の特性に合わせて工夫されていることが分かった。

◇福祉関係者より

- 施設内部まで入るのは初めてで、活動内容を詳しく知ることができた。
- アルミ缶や月桂樹の回収は地域の組織が行っているのか質問があった。 → 主に旧瑞穂町内の個人宅の協力によるもので、組織としての団体はないことを説明。
- 農耕班の野菜づくりは、経験のある職員が担当していることを説明。

◇地域関係者より

- 障害者施設をここまで詳しく見学したのは初めて。

- 早めに到着した際、音楽が流れており心地よい雰囲気だった。
- 寝具が丁寧に畳まれ、利用者が部屋でくつろげるよう工夫されている点が印象的。
- 少ない支援者でも運営が成り立っていることに驚いた。
- 他の場でも今回の見学内容を伝えていきたい。
- 作業班で電灯が切れていたり、ちらつきがあった点が気になったとの指摘。

4. 閉会

以上の内容をもって、第2回地域連携推進会議を終了した。

令和7年9月25日

記録：サービス管理責任者